

6年

「ぼくたち・わたしたちが考えるSDGs」



～「暮らしにやさしいSDGs 講座～SDGsをあなたのものにするために～」～

資生堂グローバルイノベーションセンターにて行われたイベントに参加しました。講座のはじめに、6年生が「ぼくたち・わたしたちが考えるSDGs」と題して、今年度の活動計画を発表しました。これからの活動のきっかけとなる機会になりました。

6年生のそれぞれの取り組み



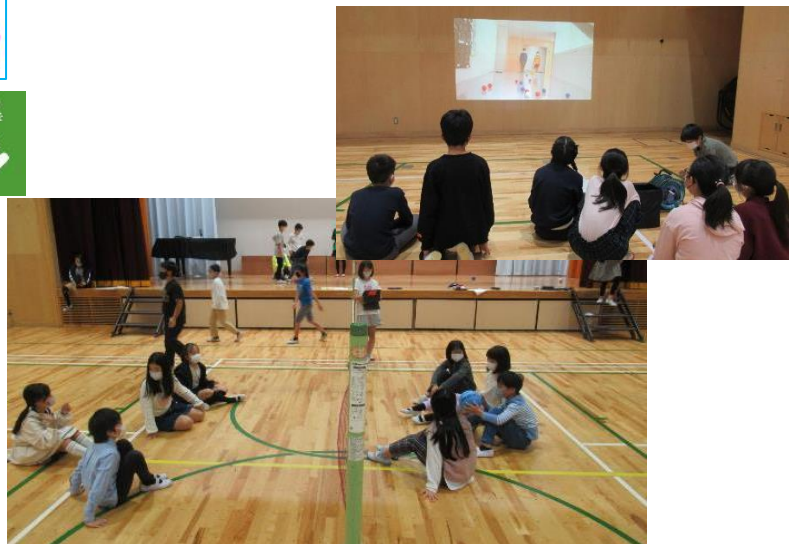
～みんなが楽しめるニュースポーツをつくりたい～

スポーツの中には、身体的な違いや体力的な違いによって、みんなで楽しめない種目があるということに問題意識をました。そこで、身体的な違いや体力的な違いがあっても、みんなで楽しめるニュースポーツの開発に取り組みました。開発にあたっては、神奈川大学の学生からもアドバイスをいただきながら進めました。



～パラスポーツを広めたい～

東京パラリンピックを通して、注目されたパラスポーツについて、今後もみんなの理解が広がり、普及していくように、みなとみらいを語る会やたてわり活動などの際に、種目の説明をしたり、体験ブースを設けたりしました。他学年の子どもだけではなく、保護者など大人に対しても情報発信を行いました。



～一人ひとりの個性を

見つけ合える社会をつくりたい～

昨年度、学校生活に潜むジェンダーに関する問題の解決に取り組んだメンバーを中心に、今年度も引き続き活動に取り組みました。みなとみらいを語る会では、下級生や保護者など、自分たちとは異なる年齢・世代の方々とも語り合い、様々な意見に耳を傾けることで、自分たちの考え方を更新していく様子が見られました。



～みなとみらいの魅力伝えるマップを作ろう～

普段から過ごしているこの「みなとみらい」地区の、住んでいる自分たちだからこそわかる街の魅力を伝えるために、みなとみらい魅力マップ作りを行いました。観光マップの見方も参考にしつつ、別の視点でそれぞれの観光スポットの魅力を伝える記事を書きました。マップを作る中で、みなとみらいの街の新たな魅力に気づき、多様な見方で物事を考えることの大切さを実感していました。



～アップサイクルをもっと身近なものにしたい～

みんなが日常的にアップサイクルに取り組むためにはどうすれば良いのかという問題意識のもと、活動を進めました。「生活に役立つ」「身近な資源である」「難しくない」など、自分たちで条件を設定して、考え続けました。みなとみらいを語る会では、お菓子の袋を使ったかご作りや土壌混合方法について紹介しました。また、コーヒー豆のかすを原料とした3Dプリンターなどをデザインする企業の方からは、アップサイクルの可能性について体験も含めた授業をしていただきました。



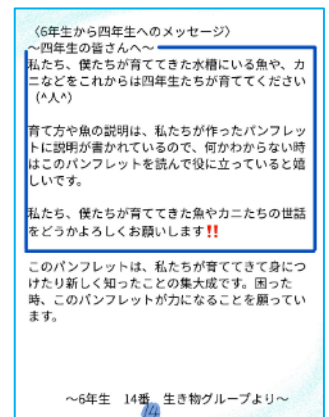
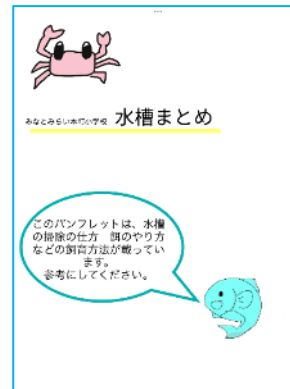
～地球温暖化対策に

より前向きに取り組むために～
地球温暖化対策については、様々なところで取り組まれています。しかし、普段の生活においてそれらを意識して取り組んでいる人は少ないのではないかと。こうした問題意識のもと、具体的な行動変容につながる取組について考えました。活動を進める中で、モビリティ・マネジメントという取組を知り、自動車利用から徒歩や公共交通機関の利用へと移行できるものについて、世代別に意見を聞きまとめました。



～学校の海水槽の生き物たちを守るために～

ハマの海を想う会の吉野さんから話をいただき、これから自分たちが横浜の海のためにできることは何かを話し合いました。すると、まずは目の前にいる生き物、すなわち学校にある海水槽の生き物のために環境保全を考えようということになりました。生き物が住みやすいように海水槽のレイアウトを考え、さらには今年度で卒業してしまうので、在校生が海水槽の管理をしやすいように説明書を作成し、4年生に引継ぎをしました。



～臨港パークからゴミがなくなるには～

学年で臨港パークに行った際、想像したよりも多くのゴミが浮いていることが気になりました。子どもたちがどこで捨てられたゴミなのかを話し合ったところ、違う場所から流れ着いた可能性があるものが多いことに気がきました。そこで、生き物の住処や観光スポットとしての機能を守りつつ、漂流物が流れてこないような柵のデザインを考え、港湾局の方々に提案をしました。

～動物愛護を考えて～

動物愛護の考えを広げようと活動を始めました。まずは現状を知るために、アサヒペットさん、野毛山動物園さんにお話を聞き、動物と関わる方々の思いを知りました。その後、自分たちが考える動物愛護の考えをまとめ、野毛山動物園のイベントにて発表をしました。子どもたちの中では動物に対する優しさは、人に対する優しさにつながるものがあるとし、今後意識していきたいという思いをもちました。



～自然資源の有効活用～

木のストローづくりに着目してスタートしたグループ。横浜ベイシェラトンホテルの取り組みを聞き、自分たちでも木のストローづくりにチャレンジしました。材料とするのは、高島水際線公園に生えている葦。調べた手順にそって制作を進め、みなとみらい産のストローを作ることができました。身近な材料で日用品に代用できることがわかり、今後も環境に優しい製品をなるべく使うようにしようと考えていました。



～SDG sをより身近なものに～

社会的に SDG s に対する関心が高まっている中で、それをあまり快く思っていない(押し付けられていると感じている)人がいるのではないのかということに問題意識をもち、活動を始めました。SDG s をより身近なものとして捉える(広める)上で、何がハードルとなっているのかをアンケートなどで調べようと試みました。



～「みな」と「みらい」を語る会～

今年度、11のグループに分かれて活動を進めた子ども達は、みなとみらいを語る会についても各グループで準備を進めました。グループによっては、3名という少ない人数でしたが、これまでの経験を生かしてどのグループも主体的に準備を進める様子が見られました。当日は、他学年の児童や保護者の方から、多くの称賛の言葉をいただきました。